

令和 6 年度 下 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	日光児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市日光町9丁目1番3号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,107,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,001.55㎡ ◇延床面積:370.16㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、事務室、 駐車場(日光コミュニティセンター駐車場と共有) ※日光コミュニティセンター、日光事務所との合築		

●利用状況

		R6下半期	R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	11,251	12,479	11,733	1,945	8,577
	移動児童館利用者数	263	260	244	321	297
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※11(5)	※8(3)	※9(4)	※9(4)	※9(4)
	開館日数(単位:日)	151	154	151	155	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。 ②所長1名、職員2名の3名を配置しました。 (うち保育資格2名 教員資格1名 児童厚生員3名) ③「児童用おたより」の発行-16か所に配布しました (小学校5校区、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校、コミュニティセンター) 「幼児用おたより」の発行-11か所に配布しました。(幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校、コミュニティセンター) ホームページはスマートフォンにも対応し、市民の皆様へのお知らせやブログも用いてタイムリーで分かりやすく配信しました。 また、当岐阜市社会福祉事業団が管理している他の8施設のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。 気象警報発令時などの情報は、迅速にホームページにUPしました。 ④ご意見箱を設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としました。また児童・保護者を対象にアンケートを年2回実施しました。(下半期1回) 苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応しました。 意見・アンケート調査結果は館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。 また、日頃から利用者とコミュニケーションをとり、話しやすい雰囲気作りを心がけました。 ⑤仕様書・事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき保守点検を適切に実施しました。 ②幼児室に口に入れた物を入れる箱を作りアルコール消毒を実施しました。トイレの便座、洗面所を1日2回アルコール消毒を実施しました。 就労継続支援B型事業所清掃班による清掃を実施しました。 業者による窓ふき・ワックスがけを行いました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、ペットボトル及び牛乳パックなどの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。 おもちゃや本の寄付があり、きれいにしてリサイクル活用しました。 ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具点検、月2回のAED器具の機能確認、毎日の消毒、清掃を行い、遊具、玩具、設備、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。 また日頃から職員が点検を行いました。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)並びに岐阜市に要望を提出しました。 故障した玩具などはおもちゃ病院に修繕していただきました。(下半期33個修繕していただきました)
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。 個人情報が記載された用紙は厳重に管理し、使用后シュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 消防訓練を2回実施しました。 12月にコミュニティセンターと日光事務所と利用者合同で行いました。 3月に児童センターと利用者で行いました。 職員間で災害に対しての話しをし、利用者に安全に利用していただけるよう確認を行いました。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和6年12月1日～令和7年1月31日 回答者数: 100人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和7年12月1日～令和7年1月31日 回答者数: 100人(小学: 1年17人、2年15人、3年28人、4年8人、5年14人、6年7人) (中学: 1年1人、2年3人、3年7人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 則武26人、島25人、早田18人、城西16人、鷺山4人、黒野2人、芥見2人、その他市内7人 【年齢】 10代(0%)、20代(6%)、30代(66%)、40代(19%)、50代以上(9%) 【利用頻度】 初めて(7%)、ほぼ毎日(2%)、週2～3回(4%)、週1回(20%)、2週に1回(31%)、月1回(28%)、その他(7%)、無回答(1%) 【来館相手】 子・孫(98%)、友人(1%)、その他(1%)、無回答(3%) 【子・孫の年齢】 0歳(11%)、1歳(21%)、2歳(22%)、3歳以上(45%)、無回答(1%) 【来館方法】 徒歩(12%)、自転車(6%)、自家用車(82%)、公共交通機関(0%) 【何で知った】 ホームページ(35%)、広報紙・チラシ(9%)、学校(4%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(25%)、ぎふし子育て応援アプリ(7%)、ソーシャルメディア(4%)、その他(13%)、無回答(4%) 【評価】 (あいさつ) 満足(91%)、ほぼ満足(7%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) (言葉づかい) 満足(89%)、ほぼ満足(9%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) (利用者対応) 満足(90%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) (利用しやすさ) 満足(81%)、ほぼ満足(14%)、普通(4%)、やや不満(1%)、不満(0%)、無回答(0%) (整理整頓) 満足(82%)、ほぼ満足(14%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) (清潔感) 満足(74%)、ほぼ満足(17%)、普通(9%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) (換気) 満足(78%)、ほぼ満足(13%)、普通(9%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 則武小52人、城西小12人、早田小10人、島小8人、鷺山小3人、西郷小2人、岐阜聖徳学園附属小2人、岐阜清流中8人、青山中2人、その他市内1人 【学年】 小学: 1年(17%)、2年(15%)、3年(28%)、4年(8%)、5年(14%)、6年(7%) 中学: 1年(1%)、2年(3%)、3年(7%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(3%)、毎日(9%)、週4・5回(5%)、週2・3回(24%)、週1回(14%)、その他(45%) 【来館相手】 ひとり(12%)、友人(45%)、兄弟姉妹(21%)、父母(12%)、祖父母(3%)、親戚(3%)、その他(2%) 【来館方法】 徒歩(23%)、自転車(29%)、自家用車(46%)、バス・電車(0%)、その他(0%)、無回答(2%) 【好きな遊び】 ドッジボール(11%)、バドミントン(10%)、カラム(7%)、ほん(6%)、ぬりえ(6%)、けんだま(5%)、ボードゲーム(5%)、人生ゲーム(5%)、プラズマカー(4%)、なわとび(4)、おりがみ(4%)、その他(35%)
利用者からの要望・苦情と対応・改善	<保護者> ○コロナの間に1度来ましたが、おもちゃが少なかったです。今日はおもちゃが増えてたくさん遊べました。 ○キレイになってもっとよく利用したいと思いました。いつもありがとうございます。 ○いつも優しく対応してくださるのでありがたいです！ ○いつもよくしていただきありがとうございます。忘れ物や持ち物の紛失時も、とても親身になっていただけてほんとうにたすかりました。 ○いつも元気にあいさつしてもらえて、気持ちがいいです。来館カードを書いている間に子どもを見てもらえて安心して書いて、ありがたいです。 ○駐車場が広くてありがたいです。上の子ども利用させてもらっています。ありがとうございます。 ○いつも声をかけてくださり、ありがとうございます。温かくむかえ入れてもらえて息子も児童センターへ行くのを楽しみにしています。 ○こどもの名前を覚えてくださり、声をかけてもらえてとてもありがたいです。いつもありがとうございます。 ○いつも楽しいおもちゃや企画をありがとうございます。 ○いつもありがとうございますー2人 ○いつも優しく話しかけてくださりありがとうございます。こどもも先生が大好きです。 ○こどもの名前を覚えてくださり、いつもニコニコ明るく嬉しいです。こどもも先生方が大好きです。 ○保育園に通っているのですが以前のように来れなくなりましたが、来ると親もほっとします。いつもありがとうございます。 ○こどもも連れてこちらに行ったとき、いつも温かく迎えていただきありがとうございます。 ○スタンプ台やレジャーシート、CDデッキを快くお貸しくださいありがとうございます。 ○こどもに寄り添った優しい先生方でいつも気持ちよく利用しています。"" "" ○いつも笑顔で迎えてくださり、こどもも親もほんと安心してできる場所です。いつも本当にありがとうございます。 ○いつも笑顔で迎えていただいてありがとうございます。 ○特にありません。大満足です♡ ○感じが良い。

利用者からの
要望・苦情と
対処・改善

○遊びやすく良い。
○こどもの名前を覚えていただいて優しく接してもらえる。いつもありがとうございます。
○特になしー2人
○いつも温かく対応してくださり、ありがとうございます！オムツ替えの際のフォローをしてくださり、感謝しております。
○おもちゃがたくさんあって、無料で駐車場もあり、利用しやすいです。
○こどもとよく遊んでくださる人だと、こどもは顔をおぼえ、町内で会うと声をかけていました。
○宿題や勉強を教えてくれるボランティアの方が平日来てくれるとありがたいです。
クライミング、ターザンロープとか、体をおもいっきり使って遊べるものがあると楽しいかなと思います。
ゲームやお菓子を持ってくる子がいるので控えてもらえたらいいかなと。
ヘア、アクセサリー作りとかできたら女の子は喜びそう、と思います。幼稚園の子ができるレベルだとたすかります。
→たくさんのご意見ありがとうございます。勉強を教えてもらえるボランティアの方は月2回日曜日をお願いしております。
平日も勉強を教えてくださいボランティアの方がきてくださるようお願いしていきたいと思います。
遊戯室で遊べるものが増えるとかどもたちも喜ぶと思います。クライミングやターザンロープはとても楽しいですね。予算や安全面のこともありますので、児童館だけでは判断できないため相談してみます。
行事については女の子が喜ぶ行事を取り入れていきたいと思います。幼稚園の子も保護者と一緒に参加できるように考えていきます。
ゲームは自己管理するという約束で持ってきてても良いことにしております。お菓子はセンター内では食べることはできませんが、外では良いことにしております。また持ってくることは自由にしております。土日は1日児童センターで過ごす子もいるためおやつを持ってくる子もいます。ご迷惑をおかけすることがありましたら職員にお声かけください。ご理解のほどよろしく願いいたします。
○優しく話しやすいで安心して来れます。
幼児室に姉(小3)が妹(4歳)と遊べなくなったのが困りました。
→ご不便をおかけして申し訳ありません。幼児室のおもちゃを図書学習室に持っていき使っていただけますので一緒に遊んでいただけたらと思います。幼児室は就学前のお子様までの利用となっておりますのでご理解のほどよろしく願いいたします。
＜児童＞
○WiFiをつけてほしい 2人
→児童センターでは決めることが出来ないで、ごめんなさい。市役所に要望は伝えておきますね。
○部屋をもっと広げる
→部屋を広げることは出来ませんが、今あるお部屋で楽しく過ごせるように考えていきますね。
○行事を増やして／土〇日に行事がほしい(なるべく)
→楽しい行事を増やしていきたいと思うので、どんな行事がやりたいかぜひ教えてくださいね。／平日しか来館できない子、土日しか来館できない子がいると思うので、平日にも土日にも行事を入れていきたいと思います。
○ピアノを2～3位に増やすこと
→ピアノがあると嬉しいですね。場所が狭いのでピアノを置くことは難しいですがキーボードを1台増やしましたので使ってくださいね。またエレクトーンもあるので順番に使って下さいね。
○お菓子OKのルールがほしい
→館内に落ちているお菓子を小さい子が間違えて口に入れてしまうと、喉がつまって呼吸が出来なくなったり、アレルギーを起こしたりして危険なため館内でお菓子を食べることは出来ませんが、玄関の外では食べても大丈夫です。いつも協力してくれてありがとうございます。
○時間を長くしてほしい
→もっと長く遊びたい気持ちは分かります。時間は長く出来ませんが、楽しく過ごせるように考えていきますね。
○うるさい人は出ていく
→うるさかったり困ったりしたときは、先生に教えて下さいね。対応していきます。
○もっとホラー小説を増やしてほしい／ヒロアカの漫画を出してほしい
→どんなホラー小説がいいのか教えてくださいね。たくさんは購入できませんが、検討していきます。
○いろいろな玩具があるからいい
○すぎすぎる
○LOVEしてる
○いつも楽しいです

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	SS	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	S	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	利用者アンケートの実施(公平性・透明性①) ・実施回数:1回(12月～1月に実施) ・保護者用(100名) 今期も幼児クラブの保護者だけでなく、一般利用者(幼稚園児・保育園児・小学生の保護者など)にもアンケートを実施しました。より多くの利用者からアンケートをいただくことで、幅広い層からさまざまなご意見・ご要望をいただくことができました。 「いつもよくしていただきありがとうございます。忘れ物や持ち物の紛失時も、とても親身になっていただけてほんとうにたすかりました。」「いつも元気にあいさつしてもらえて気持ちがいいです。来館カードを書いている間に子どもを見てもらえて安心して書いて、ありがたいです。」「子どもに寄り添った優しい先生方でいつも気持ちよく利用しています。」「特にありません。大満足です♡」「いつも温かく対応してくださり、ありがとうございます！オムツ替えの際のフォローをしてくださり、感謝しております。」「地域の学校との交流が嬉しかったです。また3学期も申し込みしたいと思います。」「毎回子どもと親もとても楽しませていただきました。ありがとうございました☆」など好評の意見を多くいただきました。児童館を子どもだけでなく保護者の方にも必要としていただいていることや、安心して遊べる居場所だと思っていたいただいていることをとても嬉しく思いました。これからも皆様に満足していただける児童センターになるよう努めて参ります。またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。 ・児童用(100名)(再掲①④) 子どもたちの気持ちを理解し、より心地良い児童館になるようアンケートを実施しました。その結果好きな遊び・やってほしい遊び・あったらいいもの・おもちゃなどたくさんの意見を知ることができました。児童センターの好きなところでは「みんなで遊べるところ」「みんながたくさんいるから」「自由に遊べる」「友だちがなぜか集まるところ」「私の居場所、みんなの居場所」「飽きないところ」「落ち着く」「来やすい」「ほのぼのしている」など意見をいただきました。また児童センターに行きたいと思った理由では「ひまだから(14人)」「楽しいから(12人)」「私の居場所」「楽しいし先生がいるから」「ボランティアさんに会いたかったから」「先生たちに会いたいから」「何しようか迷ったときに「行こう。」って思ったから」「ぼくの組のほとんどが日光児童センターに行っていたので、面白そうだなあと思ったから」など意見をいただきました。「居場所作り」ということを意識しなくても子どもたちにとって児童センターは日常的に利用でき、安心な場所であることがわかりました。地域に溶け込み誰もが気軽に来れる存在でいられるようこれからも子どもたちとの関りを大切に、遊びを通して成長できるよう支援していきたいと思います。 またどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。 ・幼児室のリノベーションについてのアンケート(再掲①④) 幼児室を利用された保護者50名に任意で実施しました。 「畳より清潔に保たれそうで、小さな子でも安心して遊ばせてあげられそう。」「絵本をゆっくり読む空間ができた。」「絵本コーナーが充実して嬉しいです。遊ぶ場所の床がとてもキレイなのでとても快適です。」「絵本を手にとるようになった。」「幼児室ではないけど、正面入口のフェンスが新しくなって静かになってgoodです！児童館にお金を使ってくださることが市民としてうれしいです。」「畳からマットに変わったので、赤ちゃんも安全にハイハイできて安心です。」「かざりつけも可愛くて空間にただでたのしい。キッチンコーナー気に入っています。」「ソファの設置、そこで絵本読めてお気に入りです。」「絵本が読めるエリアができて良いと思う。」「本が手に取りやすくなり、今後本に興味をもてると嬉しいです。」「絵本コーナーが区切られていて、ソファもあり落ち着いた空間の中で、ゆっくりと過ごせるので良いと思う。」「本を読み聞かせる場所もあって本にふれあう機会ができていいと思う。」「カラフルでとてもかわいいお部屋で子どもも喜んでます。お片づけもしやすい配置でとてもよいです。」「本コーナーに座れるソファができて、空間が広がったところがいいなと思いました。」「など意見をいただきました。絵本コーナーが好評で喜んで見える方がたくさんみえました。また子どもが本を身近に感じてくれることに期待を持って見える方もみえました。キレイになり、今後も利用したいと思うくださる方もたくさん見え嬉しく思いました。 アンケートでの意見は全職員が共有し、利用者ニーズを把握しどの意見も真摯に受け止め、改善できることは素早く対応していきます。 広範で適切な情報提供・広報活動の実施(公平性・透明性②) ・岐阜清流中学校との交流(中日新聞に掲載)(再掲②③④⑤⑥) 3年生の技術・家庭科の学習の一環として、幼児とのふれあい活動を通して幼児への理解を深める。また世代を超えて交流し顔の見える関係につなげられたらということから中学3年生が幼児クラブに参加することになりました。(4クラスなので4回実施)今回はコミュニティセンターの大ホールで行ったので荷物の搬入も手伝ってもらいました。また幼児を迎えるところからの参加だったので、子どもたちや保護者と触れ合う時間を長く持たせてとても仲良くなり、どのクラスも和やかな温かい雰囲気の中活動することができました。また中学生がペープサートや歌を披露してくれる時間もありました。参加された保護者からは「中学生の子ってこんなに優しいんだね。また来てほしい。」という声が聞かれました。親子との交流を楽しみ、双方にとっても貴重な体験になりました。 また生徒の皆さんに児童センターが子どもたちの主体性を大切にしていることやボランティアとして活動できることなど児童センターの役割を知っていただくきっかけになりました。 中日新聞に掲載され、多くの方に児童センターの活動を知ってもらうきっかけになりました。 ※2024 12月22日(日)中日新聞朝刊より ・岐阜清流中学校・子ども館長Nさん「虎哉大賞」中日新聞に掲載(再掲②④) 岐阜清流中学校3年生のNさんが岐阜市の小中学生が夢や志をまとめる作文コンクール「ぎふ虎哉賞」の最高賞に選ばれました。Nさんは日光の子ども館長です。普段から児童館のボランティアとして清掃をしたり子どもたちと遊んだりイベントを企画し活躍しています。作文には児童センターでのボランティア活動から保育士を目指すようになったこと、ボランティアの幅が広がったことなどが書かれてありました。 Nさんは小学校1年生の時から児童センターを利用して、今も児童センターを第2の家と言いつて来られます。友だち、親、言葉の壁などたくさんの悩みをもちながらがんばってきたことを知っていることでNさんの成長を嬉しく思います。Nさんにこれまで関わってきた職員・児童館に来てくれる大人ボランティアの方などみんなで支えてきたことでNさんや回りの環境が大きく変わってきました。夢をもったことも大きな成長の1つだと思います。これからも見守って行こうと思います。またNさんがそうだったように、児童館が子どもたちの大切な居場所になるようこれからも務めていきたいと思っています。今回の事は児童館の居場所としての集大成かなと思っています。 中日新聞に掲載され、多くの方に児童センターがどんな活動をしているのか、知ってもらえるきっかけになりました。 ※2025 1月 中日新聞朝刊より””・Instagramによる広報宣伝活動(再掲②⑥) Instagramを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できました。動画や音楽などを活用し、より親しみやすいInstagramを提供することができました。(下半期投稿回数78回、フォロワー168人) ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥) 毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知っていただくきっかけとなりました。
--------------------------	--

今期の取組み
に対する評価

・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)
毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも日光児童センターのPRを行うことができました。10部から15部に増やしました。

・小学校から児童センターの見学(再掲②⑬)
「則武小学校・城西小学校の2年生」が授業で行われる地域の公共施設の見学にみえました。児童センターの活動を紹介したり、ゲームや工作などを行い児童センターの楽しさを伝えました。

・4地区合同赤ちゃんクラブでのPR
移動児童館で参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。4地区とは則武・早田・城西・島です。

・おたよりの配布
幼稚園・保育園・小中学校・特別支援学校・コミュニティーセンターなど16カ所に毎月おたよりを配布し情報を提供しました。

・則武校区でのPR
親子ふれあい教室の移動児童館に参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。

・島校区でのPR
親子ふれあい教室の移動児童館に参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。

・鷺山校区でのPR
親子ふれあい教室の移動児童館に参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。

・城西校区でのPR
親子ふれあい教室の移動児童館に参加した際、幼児クラブの活動や行事などの情報を提供しました。

・ホームページでの情報提供
ホームページの更新、最新情報を提供しました。

業務改善や工夫(効果性③)

・センターたより
こどもたちに絵を描いてもらい、毎月のおたよりに載せました。「私も、僕も載せてほしい」とたくさんのこどもたちが絵を描いてくれました。

小学校の先生に「これをみてこどもたちを褒めたり応援することができます。」と喜んでもらえました。こういった事業(こども行事やおたよりなどこどもファースト)から学校との繋がりが出来ました。

・ぬりえコーナー
児童センターで人気のぬりえコーナーに子どもたちの手作りぬりえを15種類増やしました。いろんなキャラクターが増えとても喜んでます。職員が頼んだわけではなく子どもたちが自主的にぬりえにしてほしいと描いてくれるのもとても良いことだと思っています。

新しいぬりえがたくさん増え利用者に喜ばれています。

・小・中学生役割分担
児童センターに遊びに来ている小・中学生が児童センターでの役割を自分たちで決めました。

・こども館長
・副館長
・こども遊び係長
・おたよりなどのデザイナー
・プレゼントを作る人
などです。事業を計画・運営し活動しています。

・事務室をコミュニケーションスペース(親)(再掲③⑤⑥)
以前からこどもたちは事務室を利用していますが、最近はお母さんの利用もあります。こどもと遊びに来て事務室で過ごされる方が数名みえます。幼児さんの親さんはこどもとぬりえをしたり、授乳室として利用されます。小学生の親さんはこどもが宿題をやっているのをみていたり、一緒に遊んだりしてみえます。また職員に話しや悩みをお話する方もみえます。事務室はこどもだけではなく親にとっても落ち着き安心できる場所になっているようです。

・ベビータイムに保健師さん参加(③⑤⑥)
0歳児クラスに学期に1回保健師さんに来ていただいています。保護者の方から「保健師さんに相談したいことがある。」「保健師さんに会いたい。」ということを知っていたので保健師さんの見える日を紹介し、無事に相談することができました。また2学期は「災害対策」3学期は「こどもの感染症」のお話を聞くことができました。その後育児相談をしていただき育児に悩んでみえる方に寄り添えるよう努めました。

・お話を語る会(再掲③⑥⑭)(講師)
毎月2回「読み語りルンルン」の先生方に来ていただき、30分ほど絵本・大型絵本・紙芝居・手遊び・歌などを企画し、幼児から小学生対象に行いました。毎回いろんな先生がみえます。語り方も違い、個性的で楽しい先生ばかりです。読み語りの中に落語を取り入れた月もあり日本の伝統芸能を伝えることもできました。また多種多様な絵本・紙芝居を見ることができるのでこどもたちも楽しみにしているし、職員の勉強にもなります。

・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑤⑥)
人気のある「ドッジボール」「カロム」などの行事を多く取り入れるようにしました。

今年度は毎月カロム大会を行い、優勝者を掲示し年間チャンピオンを目指す目標を作りました。チャンピオンを目指して毎日のように練習にくる子どもたちがいました。好きなことをみつけ一生懸命練習する姿はとても素敵で、みるみるうちに上達していききました。勝って達成感や成功体験を感じたり負けて悔しい思いをしたりカロムという遊びからいろんな学びを体験していることを感じました。

・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑭⑮)
今年度も地域の方に先生をお願いして、毎月2回～3回将棋を教えていただきました。毎回保護者の方が送り迎えをしてくださり参加する子・将棋の本をもって来る子など児童センターに将棋を目的に来る子が増えました。

地域の方とのつながりのありがたさに感謝し、これからも地域の方やボランティアと一緒にこどもたちを見守っていききたいと思います。

・サイエンスショーの開催(再掲③⑭)
令和4年度から2回/年、各児童館で開催しているサイエンスショーの内容について、これまでの開催経験を踏まえ、「こども参加型で、実験・体験・驚きを感じられるもの」、「華やかさ・わくわく感が感じられるもの」など各施設からの要望に沿った内容のショーを開催し、こどもたちが驚き・どよめき、科学に対する興味・関心を高めることができました。

・大学生のお兄さんとドッジボールで遊ぼうの開催
今年度も岐阜大学の学生にこどもたちとドッジボールで遊んでいただきました。

・リユースの取り組み(再掲③⑨)
おもちゃや本の寄付があり、きれいに使用しています。寄附していただく物はとてもきれいで大切に使われていたことがわかります。「こどもが使っていた物がまたここで子どもたちに使ってもらえて本当にうれしい」と言われました。こどもたちや保護者の方からも「新しいおもちゃがある」ととても喜んで使っていました。

今期の取組み
に対する評価

・リユースの取り組みパート2(再掲③⑤⑨)
小学生対象の「はるまつり」の景品をおたよりを通して、寄附をお願いしました。
こどもはもちろん保護者の皆さんもおたよりをみてくださり、たくさんの景品が集まりました。児童センターの活動を応援して
くださり、わざわざ足を運び景品を持ってきてくださったことをとても嬉しく思いました。地域の方と繋がりがもてたことはとて
も大きな力になると思います。これからもリユースの取り組みを積極的に取り入れていきたいと思っています。

・キーボード
こどもたちからもう一台エレクトーンが欲しいという声があったので、寄附でいただいたキーボードをリユースでき、こどもた
ちは大喜びしています。

・自由遊びちょこっとクラブ(再掲③⑤⑥)
毎月行っている幼児向け自由参加のクラブの内容を、既存の遊具を使った遊びから「作って遊ぼう」と創造性を使った内容
に変更した所、参加者が増えてきました。毎月楽しみにしてくださる親子さんもみえます。
新規事業(行事)等の実施(効果性③)

子どもたちの主体性を生かした新規事業の開催

・バトミントン大会ー5回
小学校5年生こども遊び係長の男児T君が企画 賞状を作り表彰式を行ってくれました。小学校の先生がセンターたよりを
見て「児童センターでこんな活動をしているんですね。」と喜んでもらえました。T君も先生に褒めてもらえたと話していま
した。学校との繋がりになりました。

・クリスマスツリー作り
小学校3年生女児Hさんが企画 母親と内容を考え試作品を持ってきてくれました。その後職員と準備し行事を行いました
た。

・キックベースで遊ぼう
小学校5年生子ども副館長の女児MさんHさんが企画し行事を行ってくれました。

・おりがみ教室
小学校5年生女児YさんHさんが企画し、行事を行ってくれました。

・紙粘土工作
小学校5年生女児Hさんが企画し、行事を行ってくれました。

・マンカラで遊ぼう
小学校3年生男児H君が企画し、行事を行ってくれました。

・モルックで遊ぼうー2回
小学校5年生子ども副館長女児Mさんが企画しし、行事を行ってくれました。賞状とプレゼントを作り表彰式を行いました。

・みんなで大縄跳びで遊ぼう
小学校3年生女児Kさん企画し、行事を行ってくれました。

・指人形作り(講師)(再掲③⑥⑭)
講師の先生を依頼し指人形作りを企画しました。全6回行い、12月に発表会を行いました。こどもたちにお話の楽しさや演
じることの楽しさを伝えていきたいという思いで企画した指人形作りは発表会を幼児の部と小学生の部の2回行うことがで
きました。講師は小学生の頃児童センターで人形劇クラブに参加していてとても楽しかった経験が今に繋がったと話して見
えしました。その思いが今回参加したメンバーに伝わり、発表会はとても盛り上がりました。また参加したいと話していま
した。

こどもたちにたくさんの経験の機会を与えていくことの大切さを改めて感じました。

・紙芝居を読む会
ボランティアや職員がサポートに入り、小学校3年生女児Kさん女児MさんRさんと一緒に紙芝居の読み聞かせを行いま
した。発表会を3回行いました。。小学生が読んでいるのを見て「とても楽しかった。また聞きたいです」と言われる方もみ
えました。幼児と小学生の関りもできるのでこれからも継続していこうと思います。

「紙芝居クラブ」の、のぼりをつくりました。

・ベビータイム救命講習会(③⑤⑥⑬)
北消防署の方に依頼し、赤ちゃん対象の「救命講習会」を行いました。
AEDの使い方や人形を用いて心肺蘇生を参加者1人ずつ実施しました。
参加された方が良い経験になったと話してみえたので、これからも毎年行いたいと思います。

・リノベーション発表会(こども・母親クラブ・ボランティア共催)(再掲③⑭)
① あいさつ(所長)
② テーブカット(こども館長中学3年生Nさん、副館長小学校5年生Mさん)
③ こども館長Nさんあいさつ
④ 指人形劇団(小学校5年生Mさん、Hさん、Yさん、先生)
⑤ 日光紙芝居クラブ(小学校3年生Rさん、Kさん)
⑥ 実践童話の会(先生2人)
⑦ 母親クラブにこにこさんによる歌・手遊び・プレゼント(大人4人中学生2人小学生5人幼児1人)
⑧ あいさつ(所長)
テーブカット、あいさつをこども館長・副館長がやってくれたことで、場が和やかになりとてもよかった。こどもたちや地域の
方々の協力があり温かいリノベーションお披露目会になりました。

・小学生対象はるまつりの開催(再掲③④)
こどもボランティアを募集しこどもたちが企画から準備・当日のお店屋さんまでを担当し行いました。
10月にメンバーとお店を決め、来館時に品物作りなどを行い3月の当日1週間前に集まり最終確認と打ち合わせを行いま
した。スタッフの中には特別支援学級の子や友だちとの関りが苦手な子などいつも職員が気にかけているこどもたちも参
加しました。

中学生・大人ボランティアの協力もあり当日はとてもスムーズに楽しく行うことができました。
この経験がこどもたちの自信に繋がり、友だちの輪が広がった子・ボランティアをやりたい子・自分で行事を企画したいこど
もたちが出て来ました。また、自分の気持ちを表現できるようになりました。完璧でなくていいのでこどもたちの自主性を尊
重し、職員はサポートに徹したことでよりこどもたちの力が発揮できたのではないかと思います。これからもこどもたちの自
主性、やる気を応援し、自信に繋がる経験をたくさん考えて行きたいと思っています。

・未就園児対象はるまつりの開催・フリースペースの生徒(母親クラブ共催)(再掲③④⑭⑮)
母親クラブ・大人ボランティア・岐阜清流中学校の先生(6人)岐阜清流中学校の「フリースペース」の生徒たち(9人)岐阜
清流中学校の生徒たちと協力し未就園児対象「はるまつり」を開催しました。 フリースペースの生徒たちは普段から児童
センターを居場所として活用しています。今回のはるまつりも生徒たちから「お手伝いしたい」と気持ちを伝えてくれました。
担任の先生とこの子たちが少しでもいろんな場所に出かけたり、いろんな人と関われる機会を持てるよう支援していこうと
話していたので良い機会となりました。中学生の皆さんはとても温かい気持ちで優しく幼児さんに対応していました。また話
すことが苦手な子は回りの様子を伺い、幼児さんが安全にお店を回れるよう見守っていました。言葉では上手く伝えること
ができませんが、とても和やかで温かい雰囲気でした。

今期の取組み
に対する評価

中学生の感想「3年生なので卒業して家にいることが多く人と話す時間がありませんでした。でも今日はみんなに会えたことや、幼児さんがほんとに可愛かったことなどとても楽しくて嬉しかったです。またやりたい」「また参加したい」「すごく楽しかった」と前向きな嬉しい感想をいただきました。日光児童センターと岐阜清流中学校の生徒・先生方・母親クラブのみなさんがとても良い関係で繋がっていることをとてもありがたく思います。みんなが、楽しく過ごせるような児童館になるようこれからも地域との関係を大切に、活動を続けて行きたいと思っています。

・ジャグリングショーと体験会の開催(再掲③⑥⑭)(講師)
岐阜大学の学生に講師を依頼しジャグリングショーを開催しました。学生の中には世界大会にも出場経験がある人もいて、普段見られない技の披露などを見せていただけました。こどもも大人も目を輝かせてみていました。前はけん玉だけでしたが、今回はディアボロショー・ボールショーなどもありよりパワーアップしていました。実技指導もあり、こどもたちは一生懸命挑戦していました。「お兄さんみたいにかっこよくなりたい!」と目をきらきらさせて練習する姿がとても印象的でした。ショーが終わった後もこどもたちは大学生のお兄さんたちから離れず帰るまで技を教えてもらっていました。

・岐阜清流中学校との交流(中日新聞に掲載)(再掲②③⑭)
・みんなで楽しく体を動かそうの開催(講師)(母親クラブ共催)(再掲③⑭)
地域に在るはなぞの幼稚園の人気体育教諭に講師を依頼。日光コミュニティーセンター2F大集会室で「運動・レクリエーション」を開催しました。対象は小学校1年生～3年生定員30人、人気講師ということもあり朝から続々と申し込みがありました。その後も問い合わせが多数ありました。先生は子どもの心を掴むことがとても上手く心から楽しんで子どもたちと接して見え人気があることがわかりました。こどもたちも生き生きとしていてそれを見ている保護者の方たちは笑顔いっぱいでした。私たち職員もたいへん勉強になりました。

・ミニミニ運動会
選手宣誓から始め、5種目の競技を行いました。友だちを応援したり、勝利すると喜ぶ姿がみられました。ボランティアの方2人の協力もありこどもたちはとても楽しそうでした。””

・新春かくし芸大会(再掲③⑭)
① 指人形劇団(小学校5年生Mさん、Hさん、Yさん、先生)
② 日光紙芝居クラブ(小学校3年生Mさん、Kさん)
③ 実践童話の会(先生3人)
④ ゲーム(職員)
⑤ みんなでダンス(小学校3年生Kさん、5年生Yさん、6年生Kさん)
こどもたちが盛り上げてくれ、楽しい会になりました。

・リトミック(幼児クラブ)(講師)(再掲③⑮)
地域の講師に依頼し幼児クラブ(5回)・ベビータイトムにリトミックをお願いしました。リトミックに興味のある方が多いので、幼児クラブの予定に「リトミック」が入っていることをとても喜んでみえました。きれいな音楽や絵本に子どもたちは夢中になっていました。

・ボランティア行事(再掲③⑭)
ボランティアさんが「おもしろゲーム」「いろんな遊びに挑戦」を企画し開催しました。ボランティアさんは子どもたちの心を受け止めて思いっきりとことん付き合ってくれてくれるので子どもたちから大人気です。アンケートに「ボランティアさんにもっと来てほしい。」という意見があるほど児童センターに欠かせない存在です。

・絵本のローテーションの実施(再掲③⑮)
岐阜市が購入した幼児向け絵本20冊の内10冊を原則1カ月単位で当事業団が管理する9施設でローテーションを行いました。これにより、各施設では毎月さまざまな絵本に触れることができる機会を提供することができました。

◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。

・バトミントン大会ー5回
・クリスマスツリー作り
・キックベースで遊ぼう
・おりがみ教室
・紙粘土工作
・マンカラで遊ぼう
・モルックで遊ぼうー2回
・みんなで大縄跳びで遊ぼう
・リノベーション発表会(こども・母親クラブ・ボランティア共催)(再掲③⑭)
・小学生対象はるまつりの開催(再掲③④)
・指人形作り(講師)(再掲③⑥⑭)
・未就園児対象はるまつりの開催・フリースペースの生徒(母親クラブ共催)(再掲③④⑭⑮)
・新春かくし芸大会(再掲③⑭)
・中学生ボランティアの活動(再掲③④⑭)
日頃から児童センターのボランティアに主体的に来てくれる子たちがいます。児童センターの後片付け・清掃・こどもの遊び相手もしてくれとても助かっています。

利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映
利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映(効果性④)
・利用者アンケートでのご意見
利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、館の運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。
また、実行できないものについては実行できない理由を説明し、ご理解をいただけるよう務めました。

・保護者用アンケート(再掲①④)
・児童用アンケート(再掲①④)
・幼児室のリノベーションについてのアンケート(再掲①④)
◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか。
・こどもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭⑮)
・岐阜清流中学校のフリースペースの1つとして活用してもらっています。担当教諭と生徒が遊戯室で体育の授業を実施しています。バトミントン・卓球・バレーボールなどを行っています。
10月～3月ー39回 利用者数ー延べ145人

今期の取組み
に対する評価

授業以外でも、居場所として児童センターを利用する子が増えました。事務室で宿題をやったり、職員とおしゃべりをしたり、趣味を満喫しています。中には自ら行事のお手伝いをしてくれる子もいます。自由に過ごせることで心が落ち着くようです。平日の夕方や土日に来ています。学校や家に許可をもらい学校帰りに来館する子もいます。

- ・未就園児対象ははまつの開催・フリースペースの生徒(母親クラブ共催)(再掲③④⑪⑫)
- ・配慮が必要なこどもの対応

S君一小学校・エールと情報共有し見守っている。
お昼を食べていないときはカロリーメイト・お茶を渡し児童センターで食べる。またお昼を持って来たときは館内でたべさせた。31回来館

Y君兄弟一小学校・エールと情報共有し見守っている。
親・姉の送り迎えが多いので、見えた時はコミュニケーションをとるようにしている。また、兄弟けんか、友だちとのトラブルもあるため親さんと連絡を取り見守ります。16回来館

- ・小学生対象ははまつの開催(再掲③④)
- ・中学生ボランティアの活動(再掲③④⑪)
- ・学校との連携(再掲④⑪⑫)

配慮が必要な児童の様子など小学校や中学校と情報共有し見守っています。則武小・早田小・清流中学校の校長先生の携帯番号を覚えていただき必要ときは電話やメールで連絡を取り合い対応しました。
また岐阜清流中学校の校長先生や則武小学校の校長先生と支援が必要な子どもたちの情報共有し見守りました。
また校長先生の計らいで児童センターによく来ている子どもたちの教室、特別支援学級・体育・数学の授業など見学することができました。これからは児童館という場所の必要性が地域に広まるように努めていきたい。

- ・事務室をコミュニケーションスペース(こども)(再掲④⑪⑫)

事務室を開放しているので子どもたちのコミュニケーションスペースになっています。家庭・学校・友だちのことなど話してくれます。また進路相談・恋愛相談・両親の相談をしにきてくれる子もいます。必要に応じ学校やエールに情報共有していきます。児童館がこれからは子どもたちの居場所で在り続けていけるよう努めていきます。今後も配慮を要すること子どもたちを長期的に見てその子が成長できるように職員は今以上に意識して子どもたちを支援していきます。

- ・岐阜清流中学校・こども館長Nさん「虎哉大賞」中日新聞に掲載(再掲②④)
- ・他施設の事例研究

当事業団が管理する児童館・児童センター9館の所長会で、他施設で実際に起きた事例を研究し、配慮を必要とする子どもが利用された際、どの施設でも適切に対応できるようにしました。
移動児童館の実施(仕様書別記4参照)(効果性⑤)

- ・日光児童センター:則武小、早田小、城西小、島小、鷺山小の5地区
- ・実施回数:11回(うち未設置地区:4回(城西1回、島1回、鷺山2回))

※赤ちゃんクラブは場所は則武ですが、則武・早田・城西・島の4校区が共催して行っていますー3回
※小学生のこどもたちと公園に行き、読み聞かせを実施しました。
※当法人内のワークサポートあおやぎ(本郷校区)のクリスマス会に参加し、パネルシアターを実施しました。障がい者の方と触れ合う機会がもて良かった。

利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施(効果性⑤)

- ・団体利用(再掲⑤⑥⑪)
- ・今期も「GIFUシングルマザー＆ファザーのホットサロン」の会が隣接するコミュニティーセンターで行われました。ひとり親cheersの方たちが団体利用で児童館を利用し子どもたちを預かってみえました。「ここは子どももスタッフも安心できる場所なのでとても助かります。」と喜ばれていました。

ひとり親cheersー4回

- ・自主サークルの「則武キッズ」の方たちが利用されました。児童センターの遊具も貸出し地域の子育てを頑張る母親たちの応援ができるようこれからも努めていきます。

則武キッズー2回

- ・G'ツインズ(双子さんサークル)の方たちの利用がありました。児童センターの遊具を貸出し楽しく活動をしていました。
- ・放課後等デイサービスHOMEBASEの方が利用されました。

子どもたちに関係するいろんな団体の方に利用していただけることで児童センターを知っていただけ児童センターの役割も広がるように思いました。

- ・事務室をコミュニケーションスペース(親)(再掲③⑤)
- ・絵本のローテーションの実施(再掲③⑤)
- ・コミュニケーション

送迎をされる保護者にあいさつをして話しかけ、コミュニケーションを取ることを心がけました。また帰宅時は職員が外にでて、こどもたちが道路へ飛び出さないよう送りだすようにしました。気さくに話をしてくださる方が増え、「安心して子どもを遊ばせられます」と言われる保護者の方が何人もみえました。

- ・ベビータイムに保健師さん参加(再掲③⑤⑥)
- ・ベビータイム救命講習会(再掲③⑤⑥⑪)
- ・リユースの取り組みパート2(再掲③⑤⑨)
- ・キーボード

こどもたちからもう一台エレクトーンが欲しいという声があったので、寄附でいただいたキーボードをリユースでき、こどもたちは大喜びしています。ありがたいことです。

- ・遊戯室の床の張替え

遊戯室の床をきれいしていただけたことで、部屋が明るくなり利用者さんがとても喜んでみえます。4か所あった空気孔が無くなり赤ちゃんや幼児さんが安心して利用できます。

- ・門が新しくなる

門を新しくしていただけた、開閉が楽になりひどい音もなくなり、とても喜ばれています。

- ・トイレボット設置

利用が多く喜ばれています。利用されたお父さんも「助かります」と言ってみえました。

- ・自由遊び(再掲③⑤⑥)
- ・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑤⑥)

利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥)

- ・Instagramによる広報宣伝活動(再掲②⑥)
- ・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)
- ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)

今期の取組み
に対する評価

・幼児クラブ申し込み連携
登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。

・団体利用(再掲⑤⑥⑭)

・大人のボランティアの存在(再掲⑥⑦)

日光児童センターに定期的に来ていただいている大人のボランティアの方々がみえます。この方たちは行事を企画したり、お手伝いをしてくれたりすることはもちろん、普段の子どもの遊び相手になってくれます。勉強・恋愛・学校のことなど親身に話をきいてくれたり、掃除・片付けなども手伝ってくれます。それぞれの特技を生かして行事を企画したり子どもをそのまま受け止めてくれます。日光児童センターのスタッフとして大きな存在であり小学生・中学生からも大人気です。ボランティアと遊びたい・話したいと来てくれる子どもたくさんいます。職員とは違う素敵な大人がたくさんいることはいろんな人に関わる経験もできるし、いろんな遊びを教えてもらえるしとにかく楽しい！職員だけでなくいろんな素敵な人たちと関われるような体制を今後も取っていきたいです。

10月～3月－94回来てくれました。

・事務室をコミュニケーションスペース(親)(再掲③⑥)

・こどもたちの主体性を生かした新規事業の開催(再掲③⑥)

・小学生・中学生・高校生スタッフの存在(再掲⑥⑦)

児童センターにいつも来ている小学生・また小さいころから児童センターを利用していた中学生・高校生がボランティアとして行事を行ってくれたり、こどもの遊び相手になってくれたり、おもちゃなどの貸し出し、ぬりえを渡してくれるなど子どもスタッフとしてたくさんのお仕事をしてくれます。職員だけでは手が回らない時など助けてくれます。この子たちは児童センターのことがよくわかっているし、こどものこともよくわかっているのので児童センターのスタッフとして大きな存在です。

・講師
講師の方にたくさん来ていただく機会を増やしました。職員でできない分野は講師のお力をお借りし、こどもたちにいろんな体験をしてもらいたいし、いろんな人に関わって視野を広げてほしいので講師の方の行事を増やしました。

・ベビータイムに保健師さん参加(再掲③⑤⑥)

・ベビータイム救命講習会(再掲③⑤⑥⑬)

・自由遊び(再掲③⑤⑥)

・人気のある小学生行事の開催(再掲③⑤⑥)

・指人形作り(再掲③⑥⑭)(講師)

・ジャグリングショーと体験会の開催(再掲③⑥⑭)(講師)

過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制(効果性⑦)

・常勤職員3名を配置。

・当事業団事務局職員2名が応援要員として対応可能です。

・児童館での事務仕事の一部を事務局で対応することで、現場職員の負担を軽減し、利用者対応に集中できます。

・大人のボランティアスタッフの存在(再掲⑥⑦)

・日曜日バイト
月2回ほど日曜日に大学生がアルバイトで来てくれます。こどもの遊び相手はもちろん、行事も行ってくれます。またお兄さんなのでこどもたちからは大人気です。女性職員では出来ないダイナミックな遊びから、若いのでこどもたちと距離も近く話し相手にもなってくれます。貴重な存在です。

・小学生・中学生・高校生スタッフの存在(再掲⑥⑦)

・母親クラブの協力
行事・おまつりなどさまざまな活動に協力していただいています。児童センターのスタッフとして大きな存在です。

・はるまつり

・リノベーションお披露目会

・みんなで楽しく体を動かそうの開催

・将棋で遊ぼう

・幼児クラブの活動－サンタクロース4回

・幼児クラブの活動－鬼4回

職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加(安定性・安全性⑫)

・こども人権研修会
2月21日:事務局
講師:岐阜市役所人権啓発センター職員 参加7名 内容:こどもの人権について

・BCP(業務継続計画)研修会
10月18日:事務局
参加10名(児童館・児童センター)
虐待防止研修会(再掲⑫⑬)

1月23日:事務局
講師:岐阜県障害者権利擁護センター所長
内容:児童虐待とは、何が虐待を招くのかなど。

・情報セキュリティ研修
12月6日:事務局・
講師:民間企業職員
内容:メールご送信、情報漏えい対策など。

・職員スキルアップ研修会(6月～1月、4回開催、下半期は2回開催) 各児童館・児童センター職員1名以上が参加
10月23日:日光児童センター 10名参加
内容:けん玉ショーとけん玉の実技指導 モルック体験
11月14日:長森児童センター 10名参加
内容:絵本の読み聞かせのポイント(講師:メディアコスモス司書)

・ブッカーの貼り研修(再掲⑫⑭)

絵本が増えたので、日光児童センター単独で当法人内の就労継続支援B型事業所の職員にお願いし、職員2人にブッカー貼り方の実技指導をしていただいた。

・給食(再掲⑫⑭)

岐阜清流中学校のフリースペースで給食と一緒に食べましたー3回 その後フリースペースを見学したり交流しました。普段から仲良くしていますがいつもはこどもが児童センターを利用するという形ですが、今回は反対だったのでこどもたちが送り迎えしてくれ、とても歓迎してくれました。

フリースペースがどのような部屋で、どんなことをやっているのか、こどもたちの様子などを見ることが出来ました。

今期の取組み に対する評価	危機管理(リスク)や非常時対応のためのマニュアルの整備(安定性・安全性⑬)
	・災害対策マニュアル ・危機管理マニュアル ・不審者対応マニュアル ・地震防災マニュアル ・緊急地震速報受信時対応マニュアル ・病害虫防除マニュアル ・食中毒・感染症等対応マニュアル ・社会福祉施設避難確保計画(対象災害: 水害(洪水)) ・安全計画 ・業務継続計画(自然災害編、感染症発生時編) リスク防止策の実践(安定性・安全性⑬) ・業務継続計画(BCP)の作成と運用 感染症(新型コロナ感染症等)感染者が施設内で発生した場合。また、自然災害(大規模地震や洪水等)が発生した場合に施設職員がとるべき行動を定めるとともに、平時から円滑に実行できる準備を定めた業務継続計画の感染症発生時編と自然災害編を作成し、運用を始めました。 ・虐待防止委員会の開催 当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催。虐待防止に向けた対応策について研究しました。 ・虐待防止研修会の開催(再掲⑫⑬) ・合同避難訓練の実施 日光児童センターはコミュニティセンター・日光事務所との複合施設であることから、合同で消防訓練を実施しています。火災の際の避難誘導をより迅速・的確に行う必要があり、職員一人ひとりの日頃の準備が大切です。 ・電子メールの誤送信対策の徹底 日光児童センターでは、メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しています。 ・ベビータム救命講習会(再掲③⑤⑥⑬) ・こどもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭⑮) ・学校との連携(再掲④⑬⑭) ・事務室をコミュニケーションスペース(こども)(再掲④⑬⑭) ・こども110番の家の登録(再掲⑬⑮) こどもが助けを求めた際、そのこどもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみでこどもたちの安全を守るため、こども110番の家に登録しています。 ・その他 職員による施設の安全点検毎日実施 おもちゃ点検を毎月実施しました。 AED点検毎月2回実施 消防設備等点検を実施 コロナ感染等により、施設職員が一定期間出勤できない状況が起きた際でも、施設業務に支障がないよう、事務局職員や他児童館職員が応援できる体制としました。 地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭) ・こどもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭⑮) ・未就園児対象はるまつの開催・フリースペースの生徒(母親クラブ共催)(再掲③④⑭⑮) ・岐阜清流中学校との交流(中日新聞に掲載)(再掲②③⑭⑮) ・学校との連携(再掲④⑬⑭) ・事務室をコミュニケーションスペース(こども)(再掲④⑬⑭) ・給食(再掲⑫⑭) ・団体利用(再掲⑤⑥⑭) ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用(貢献性⑭) ・施設清掃 当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施しました。 ・おもちゃ病院(再掲⑨⑭) ・ブッカーの貼り研修(再掲⑫⑭) ・リノベーション発表会(再掲③⑭) ・みんなで楽しく体を動かそうの開催(講師)(母親クラブ共催)(再掲③⑭) ・新春かくし芸大会(再掲③⑭) ・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑭⑮) ・お話を語る会(講師)(再掲③⑥⑭) ・指人形作り(再掲③⑥⑭)(講師) ・ジャグリングショーと体験会の開催(再掲③⑥⑭)(講師) ・サイエンスショーの開催(再掲③⑭) ・中学生ボランティアの活動(再掲③④⑭) ・ボランティア行事(再掲③⑭)"" ""地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)(貢献性⑮) ・こどもの居場所づくりの推進(再掲④⑬⑭⑮) ・岐阜版アダプトプログラムへの参加 職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的に実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。 清掃活動は、毎週土曜日の朝全職員で実施しています。 ・こども110番の家の登録(再掲⑬⑮) ・クリスマス会に参加(再掲⑤⑮) 地元の団体・住民との協働事業等の実施(貢献性⑮) ・小学校から児童センターの見学(再掲②⑮) ・未就園児対象はるまつの開催・フリースペースの生徒(母親クラブ共催)(再掲③④⑭⑮) ・岐阜清流中学校との交流(中日新聞に掲載)(再掲②③⑭⑮) ・親子ふれあい教室への開催協力 則武地区、城西地区・鷺山地区、島地区の親子ふれあい教室に移動児童館として訪問し、職員によるさまざまな遊びを体験していただきました。 ・リトミック(幼児クラブ)(講師)(再掲③⑮) ・将棋で遊ぼうの開催(地域ボランティア)(再掲③⑭⑮)

前回までの意見を踏まえた取組み状況	○こども館長など、こども自身が児童館の運営に関与できる機会を作り、こどもの主体性を尊重した取り組みは評価できる。 ○こども館長、こども遊び係長等、小中学生に自分たちで役割を決めてもらい、事業を数多く実施する等、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。 →ありがとうございます。今期もこどもたちの自主性を大切に考え、こどもたちに向き合い多くの事業を行うことができました。こどもたちが自分のやりたい事、自分の気持ちを素直に発信できる場になっています。これからもこどもたちの主体性を尊重し、職員がサポートしながらこどもたちが自信に繋がる経験ができるよう努めて参ります。 ○近隣の学校と連携し、児童センターをフリースペースとして利用し、行事のお手伝いにも参加してもらう等、子どもたちの居場所づくりに取り組んでいる。 →ありがとうございます。今期も児童センターをフリースペースとして利用してもらっています。また幼児のはるまつりにスタッフとして参加し、お店屋さんを担当してくれました。また授業以外でも居場所として児童センターを利用する子が増えました。来期もフリースペースの子どもたちが安心して過ごせる居場所になるよう努めて参ります。 ○独自のアンケート項目において、こどもたちの好きな体操メニュー等を聞き、活動に取り入れるなど、こども目線の取り組みは、非常に評価できる。 →ありがとうございます。今期はリノベーションの感想をお聞きしました。たくさんの方から絵本コーナーが出来たことでこどもたちが本と触れ合う時間ができたこと、きれいになって嬉しい。今後も利用したいなど好評なご意見をたくさん頂くことができました。来期は絵本を増やしていきたいと思います。児童センターがより一層地域で安心・安全な居場所になり、たくさんの方に利用していただけるようこれからも努めて参ります。 ○地域のボランティアによる将棋教室や、中学生ボランティアが企画した中学生の先生によるマジックショーを開催する等、地域と協力して交流事業に取り組んでいる。 →ありがとうございます。今期も素晴らしいスキルや知識を持っていらっしゃる地域の方に講師を依頼しました。来期も地域の方々のお力をおかりして新規事業に取り組んで行きたいと思います。 ○アンケート結果からこどもたちを温かく受け入れている職員の様子がうかがえる。 →ありがとうございます。こどもたちにそう思ってもらえていることがなにより一番嬉しいです。私たち職員もこどもたちのお陰で楽しく幸せな時間を過ごしています。 ○配慮を要するこどもへの対応に積極的に取り組んでいることは評価できる。 →ありがとうございます。学校と連携を取り情報を共有し見守っています。これからもこどもたちを受け入れ温かく見守って参ります。 ○移動児童館において、偏ることなく未設置地区での実施を増やすとよい。 →ありがとうございます。今期はこちらからこどもたちと公園で移動児童館を行ったり、障がい者施設のクリスマス会に参加するなど新しい移動児童館を実施できました。これからも地域の要望に応じていきたいと思います。また未設置地区での要望が増えるよう働きかけていきたいと思います。
今後の取組み	○居場所作り ・配慮を必要とする児童生徒を受け止め、支援の一端を担っていきます。自立を目指せるような対応や環境作り、周囲との連携を固め居場所や安心感のある児童館を目指します。また各種関係機関との繋がりを強め、体制を強化していきます。こどもたちが安心してありのままの自分でいられるような居場所づくりを務めて参ります。 ○地域を大事にした活動を進める ・現在も母親クラブの方々が子どもたちの活動の企画・準備・運営をしてくださっています。来期も子どもたちのために何かをしてあげたいという地域の方々が児童館で活動していただけるよう取り組んでいきます。 ○初めて来館した母親への支援を重視する ・今の世代の母親や家族に合った子育てに関する情報を職員が勉強しておき、0歳から就園に至るまで長期的に利用してもらえるような支援を目指します。 ○ボランティア ・子どもが自主的にお手伝いなどをやりたいという気持ちを受け止め尊重することを日常的に取り組み、主体的に施設運営に携わっているという意識が持てるように取り組んでいきます。 ・子どもスタッフを立ち上げ行事を企画したり、おまつりなどのお手伝いをお願いしていきます。 ボランティア・子ども・地域みんなで児童館を盛り上げていけるよう取り組んでいきます。 ○学習支援 ・勉強が苦手・不登校・不登校気味・塾に通えない等さまざまな理由で勉強に対しての意欲がない児童が増えています。でも高校には行きたいという思いはありますのでその気持ちに寄り添っていききたいと思います。今期も大学の学生に依頼し勉強を見てもらう行事を実施します。行事だけでなく子どもたちが目標をもてるような学習支援の在り方を考え取り組んで行きたいと思います。 ○職員研修会の充実 ・今期も職員スキルアップ研修会を充実させ、幼児向け・小学生向け工作や遊びのメニュー講座などを開催し、職員の事業実施力の向上に努めます。 また、外部講師による研修会、虐待防止研修会を開催し、リスク対応力を強化します。 ○広報宣伝活動の強化 ・インスタグラムによる広報宣伝活動を開始し。特に乳幼児を持つお母さん方への広報宣伝活動を強化します。

●所管課の意見

○子どもやその親とのコミュニケーションを大切にし、話をしやすい環境に努めている。

○近隣の中学校と連携し、児童センターをフリースペースとして利用するといった「居場所」の役割を担っている。

○幅広いボランティアと協力し、地域の児童館としての役割を果たしている。

●指定管理者評価委員会の意見

・大人のボランティアが、子どもたちの相談相手になって、子どもの気持ちに寄り添って支えることで、児童センターを自分の居場所と感じる子どもが増え、利用者が増加している点は評価できる。

・岐阜清流中学校との連携を行っており、中学生の利用者も多い点は評価できる。